



令和7年度 第1回 日進市地球温暖化対策地域協議会 次第

日 時：令和7年9月18日（木）

午後3時30分～5時

場 所：市役所本庁舎4階第3会議室

1 あいさつ

2 議 題

（1）令和7年度事業計画進捗状況について

（2）各委員の取組について

（3）その他

【資 料】

- 資料番号NO. 1 日進市地球温暖化対策地域協議会について
- 資料番号NO. 2 令和7年度日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における事業計画の位置づけ
- 資料番号NO. 3 令和7年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（経過報告）
- 資料番号NO. 4 補助実績について
- 資料番号NO. 5 にっしん省エネ倶楽部事業実施方針
- 資料番号NO. 6 Jクレジット創出プロジェクト概要
- 資料番号NO. 7 太陽光発電設備等共同購入事業概要
- 資料番号NO. 8 第2次日進市環境基本計画_抜粋
- 資料番号NO. 9 各委員の取組

出席者名簿

委員の区分	委 員 名	
学識経験を有する者	愛知学院大学 総合政策学部 教授	石橋 健一
事業者	中部電力パワーグリッド株式会社 天白営業所長	濱口 誠
	東邦ガスネットワーク株式会社 地域計画部東部計画センター 春日井事業所係長	小見山 浩一
	あいち尾東農業協同組合 本店営業店 基幹支店長	加藤 隆司
	名鉄バス株式会社 名古屋営業所長	加藤 紀幸
	荒川工業株式会社 総務部長	今村 慎吾
	中央可鍛工業株式会社 総務人事部総務課	太田 直美
	株式会社ジェイテクトギヤシステム 安全施設環境室 施設環境グループ 課長	小林 成昌
公募の市民		刑部 雄幸
		川島 宏道
その他市長が必要と認める者	日進市商工会 理事	塚本 浩文
	生活協同組合コープあいち ブロック運営部 尾張東ブロック長	鈴木 拓摩

事務局	市民生活部長	加藤 慎司
	市民生活部環境課長	中村 一弘
	環境課課長補佐	荒川 達郎
	環境課主任主査	水野 洋佑
	環境課主事	山本 結月

日進市地球温暖化対策地域協議会について

【法律の根拠】

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第40条第1項において、「地方公共団体、地域センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者は、日常生活に関する温室効果ガスの排出の量の削減等に関し必要となるべき措置について協議するため、地球温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という）を組織することができる。」と定められている。

【目的】

「日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）に基づき、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を削減することを目標としている。

実行計画に掲げる目標を達成するために、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を踏まえ、主体的に活動する必要がある。

地球温暖化対策に関する情報を共有し、各々の主体的な行動に結びつけるとともに、本市における地球温暖化対策を推進する場として、地域協議会を設置するもの。（日進市附属機関の設置に関する条例に規定）

【地域協議会で行う事務】

市民、事業者及び行政の共働の下に、地球温暖化対策に関して必要な取組等について協議する。

【地域協議会の委員構成】

さまざまな立場の委員の意見を広く求め、お互いの情報を共有するため、委員構成は次のとおりとする。

- （１）学識経験を有する者
- （２）事業者
- （３）公募の市民
- （４）その他市長が必要と認める者

【任期】

任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、同一の附属機関における委員の在任期間は、就任時において通算して10年を超えてはならない。

【委員報酬】

7,000円

ただし、国や地方公共団体の常勤の職員については、これを支払わないものとする。

【庶務】

地域協議会の庶務は、環境課が行う。

目標		施策方針		令和7年度事業計画	
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A さらなる省エネルギー化を進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施 (2) 東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト (3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (4) 公共施設のLED化の実施 (8) 公共施設の空調等設備の省エネ設備への更新	
			② 建物の省エネ化の促進	(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施 (3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施	
			③ 自動車の省エネ化の促進	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (6) 次世代自動車購入費等補助事業の実施 (7) 公共施設への次世代自動車の充電ステーション設置事業	
			④ 暮らしの省エネ化の促進	(2) 東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト (3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施	
			⑤ 市役所における率先した取組	(2) 東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト (4) 公共施設のLED化の実施 (8) 公共施設の空調等設備の省エネ設備への更新 (9) 日進市環境保全・創出のための行動計画の推進	
		B 再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施 (3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施 (10) 産業立地促進奨励制度の実施	
			② 再生可能エネルギーの利用促進	(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施 (3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施	
		C 脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (11) 地域公共交通計画に基づく取組	
			② ごみの減量	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (12) プラスチックの一括回収の実施	
			③ 地産地消の推進	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (13) 食の地産地消による省エネの推進	
			④ 緑の保全・創出	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (14) 緑化等による温室効果ガス等の削減事業	
		り行・動地す域るづ人くづく	D 行動する人を増やし、ともに活動します。	① にっしんESD事業の推進	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (15) 環境学習（ESD講座）の実施
				② 環境行動の推進	(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施 (16) 各イベントへの参加 (17) 事業の広報



令和7年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画

1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、二酸化炭素の削減取組等を着実に進める。

2 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進する。各事業が、どの施策方針にあたるかについては、資料2に記載のとおりである。

（1）住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業の実施（**A①** **A②** **B①** **B②**）

住宅への太陽光発電システム、エネファーム、蓄電池、HEMS、V2H、ZEH住宅、エコ窓などの創エネ、畜エネ、省エネ設備の設置費に対する補助事業を実施する。

目標：補助件数 198件

【経過報告】

補助対象設備の種類や金額は昨年度から変更なし。令和6年度までは設備工事の着工と完了が同一年度内でなければ補助対象とならなかったが、令和7年度は設備工事の着工が前年度でも、設備工事の完了が年度内であれば補助の対象となっている。このような要件緩和などを要因として、昨年度同時期より補助金残高が少なくなっている。

（参照：資料4 補助実績について）

（2）東邦ガス株式会社との連携によるJクレジット創出プロジェクト（**A①** **A④** **A⑤**）

地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置される太陽光発電設備、蓄電池及びエネファームにおけるJクレジット創出プロジェクトを実施する。東邦ガス株式会社が太陽光発電設備等設置者から発電データの収集や二酸化炭素削減量を確認の上、国へのJクレジット申請を行う。

【経過報告】

令和6年4月15日に東邦ガスと連携協定を締結。令和6年5月からエネファーム設置に対する補助金交付時に「暮らしカーボンニュートラルクラブ」への参加を募集している。また、令和7年4月からは新たに太陽光発電設備や蓄電池設置に対する補助金交付時についても同様に参加募集をしている。

（参照：資料6 Jクレジット創出プロジェクト概要）

(3) にっしん省エネ倶楽部事業の実施

(A① A② A③ A④ B① B② C① C② C③ C④ D① D②)

地域において事業者、教育機関、行政機関と連携し、国民運動「デコ活・COOL CH O I C E」への参加を呼びかけ、市内の家庭や事業所からの温室効果ガス排出量の削減を促すための啓発活動を行う。

子どもを通じた家庭の省エネを推進するため、小学校出前講座、企業による温暖化講座等の実施や、市内でユネスコスクールに認定されている中部大学第一高等学校など外部機関とも連携し、普及啓発に努める。

【経過報告】

今年度も省エネ倶楽部により、ストップ温暖化教室を始めとする各講座、エコライフの普及啓発等の事業を実施していく。

(参照：資料5 にっしん省エネ倶楽部事業実施方針)

(4) 公共施設のLED化の実施 (A① A⑤)

公共施設の照明のLED化を順次進める。

【経過報告】

スポーツセンターを始め9施設のLED化を実施予定

(5) 太陽光発電設備等の共同購入事業の実施 (A② B① B②)

太陽光発電設備や蓄電池の設置を希望する市民等を募集し、一括して発注することで、設備導入費用の低減を図る事業を実施する。令和7年度から新たに、事業者向けとして10kw以上の太陽光発電設備の共同購入事業も実施する。

【経過報告】

製品の共同購入価格が決定

・参加登録者数（7月末現在）	住宅用・事業用	：62件
	事業用	：0件

(参照：資料7 太陽光発電設備等共同購入事業概要)

(6) 次世代自動車購入費等補助事業の実施 (A③)

次世代自動車の普及促進のため、市民や事業者に対する次世代自動車の購入費等補助事業を実施する。

目標：補助件数 50件

【経過報告】

- ・電気自動車：15件
- ・プラグインハイブリッド自動車：14件
- ・普通充電設備：9件
- ・燃料電池自動車：0件

(参照：資料4 補助実績について)

(7) 公共施設への次世代自動車の充電ステーション設置事業 (A③)

次世代自動車の充電インフラ整備のため、道の駅に充電ステーションを設置する。

【経過報告】

国の補助金を活用し実施。令和7年11月に道の駅に急速充電ステーション1基を設置予定。

(8) 公共施設の空調等設備の省エネ設備への更新 (A① A⑤)

市役所、小中学校、福祉会館等において電気設備、空調設備等の設計・更新を行う。

【経過報告】

電気設備や空調設備など7箇所工事実施予定。9箇所新たに設計予定

(9) 日進市環境保全・創出のための行動計画の推進 (A⑤)

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市庁舎等の省エネ、省資源、エコ通勤などの推進を図る。

【経過報告】

二酸化炭素排出量の削減に加えて、公務能率の向上及びワーク・ライフ・バランスの実現につながる取り組みとして、在宅ワーク、フレックスタイム制、時差出勤、選択的週休3日制の実施

(10) 産業立地促進奨励制度の実施 (B①)

企業誘致に際し、工場等の新設又は増設に伴い、再生可能エネルギー設備を設置する事業者に対し補助を実施する。

【経過報告】

奨励金交付要綱を制定し、令和5年度より制度導入を行った。現在のところ実績なし。

(11) 地域公共交通計画に基づく取組 (C①)

環境負荷の小さい移動手段である公共交通の利用を促進するため、自動運転バスの実証実験や名古屋商科大学のスクールバスを活用し、くるりんばすを始めとする様々な交通手段のベストミックスで交通ネットワークの充実を図る。

【経過報告】

昨年度に引き続き、自動運転バスの公道での実走実験や名古屋商科大学のスクールバスの混乗利用を行っている。また、75歳以上を対象としてタクシーによる少量輸送事業（くるりんタクシー事業）を実施している。令和6年10月から実施している、75歳以上を対象としたくるりんばす実質無料化事業「にしんシニアパス75」も引き続き実施している。

(12) プラスチックの一括回収の実施 (C②)

ごみの焼却処分に伴う二酸化炭素の排出を削減するために、プラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品の回収を推進する。

【経過報告】

令和6年4月から識別マークのない「プラスチック製品」も資源プラスチックとして回収している。

(13) 食の地産地消による省エネの推進 (C③)

食の地産地消を進め、フードマイレージ（食料の輸送量と輸送距離を掛け合わせた指標）を小さくすることにより、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

ア 6次産業化支援事業

6次産業化による新商品開発及び販路開拓を支援するため、農業者、中小企業者等に対し、事業の経費の一部を補助する。

これにより、日進市の農畜産物の普及及び農業者の所得向上並びに経済の活性化を図るとともに、地産地消を推進し、輸送による二酸化炭素排出量を抑制する。

目標：補助件数 3件

イ 地産地消の推進

地元野菜が購入できるマルシェ等の開催支援を行う。ロゴマークやシールを用いて日進市産農産物の普及促進を行う。学校給食では地場産物を積極的に使用する。

【経過報告】

ア 6次産業化支援事業

・ 7月末現在 申請0件

イ 地産地消の活動の周知

コンビニ、スーパーに加え新たに道の駅にて日進市産の農産物等を販売する。

日進市産もち米「こはるもち」の特産化の取組を継続的に実施する。

毎月19日は食育の日として、地元産の食材を使った学校給食を提供する。

(14) 緑化等による温室効果ガス等の削減事業 (C④)

公共空間や民有地の緑化を進め、緑とのふれあいや暑さを和らげる効果により冷房の設定温度を控えるなど二酸化炭素削減の省エネ行動につながっていくことを目的とし実施する。

ア 緑のカーテン事業

a 苗・ネットの配布 (市民・事業者)

苗・ネットを100セット無料配布し、コンテスト参加を促す。(広報5月号で周知)

※苗を上手に植えるコツなどのリーフレットも配布

b 公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福祉会館等に緑のカーテンを設置する。

c 緑のカーテンコンテストの実施

対 象：一般部門 (市内にある一般住宅および事業所)、公共施設部門 (学校、保育園等)

実 施 日：令和7年7月17日～8月29日

審 査：令和7年9月頃 (委員2名に依頼予定)

表 彰 式：令和8年1月頃 (予定)

目標：70件 (コンテスト応募件数)

イ 緑化推進補助事業

市内の緑化の推進を図るため、愛知県が行う「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」に基づき、市民や事業者が行う優良な民有地の緑化の経費の一部に対し、補助する。

※屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化、生垣設置にかかる工事費用

【経過報告】

ア 緑のカーテン事業

- ・市民・事業者向け (配布数：100件) と市内公共施設 (施設数：37件) に、苗・ネット・応募用紙を配布した。
- ・コンテスト応募状況
一般部門 (市民・事業者向け)：未集計、公共施設部門：未集計
- ・コンテストの表彰式は、市役所市長公室にて実施予定
- ・表彰については、一般部門から、最優秀賞1名、優秀賞3名程度を表彰予定

イ 緑化推進補助事業

- ・7月末現在 個人 3件 3,558,000円

(15) 環境学習（ESD講座）の実施（D①）

ア コミュニティ公募提案型事業（にっしんESD事業）の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：市民団体へ事業を委託

イ 企業と連携した講座の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：それぞれの講座の開催日

実施方法：民間企業と連携して実施する。

ウ 省エネ倶楽部事業等

目標：1,500人（ESD講座参加者数）、55講座（講座実施数）

【経過報告】

① コミュニティ公募提案型事業：全44講座（12事業）実施予定

・19講座終了：参加者数1,228人（7月31日現在）

② 企業と連携した講座：2講座実施

・親子でパソコン分解教室（デジタルピュアリサイクル㈱）

8月 1日（金）参加者 13人

・親子deリサイクル体験（アルメック㈱）

8月 5日（火）参加者 19人

③省エネクラブ事業：7講座実施

・地球温暖化を学ぶ科学実験教室（東邦ガスネットワーク㈱）

7月30日（水）参加者 25人

・あいちecoティーチャー

8月 6日（水）参加者 18人

・次世代エネルギーフェスタ in 日進

8月18日（月）参加者 30人

・高校生アロマワークショップ

8月22日（金）参加者 20人

・ストップ温暖化教室

10月頃実施予定

・図書館読み聞かせ

11月頃実施予定

(16) 各イベントへの参加 (D②)

市民一人ひとりが環境活動に取り組めるよう、イベントの場を活用する。

5月 530運動

7月 わいわいフェスティバル

【実績】

・530運動 5月25日実施

・わいわいフェスティバル 7月5日実施（ブース展示、フードドライブ等）

(17) 事業の広報 (D②)

ア 環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日配信予定）

イ 広報にっしん（予定）

随時：にっしんESD講座参加者募集

4月：住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金・次世代自動車購入費等補助金

5月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集①

緑のカーテン苗・ネットの無料配布募集

7月：緑のカーテンコンテスト参加者募集

8月：太陽光発電設備等の共同購入事業参加者募集②

12月：環境まちづくりサポーターズポイント抽選会告知

ウ 市ホームページへの掲載

市ホームページで当協議会の事業等について周知・啓発を行う。

【経過報告】

環境まちづくりサポーターズメールマガジン（7月末時点で累計115号）

広報にっしん・市ホームページを利用して地球温暖化対策の取組について発信している。

住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業

資料NO.4

	補助内容	R7	R6	R5	R4	R3
		仮申請ベース (7月末時点)	実績	実績	実績	実績
家庭用エネルギー 管理システム (HEMS)	上限10,000円/基	11件 110,000円	33件 330,000円	24件 239,500円	38件 379,000円	24件 240,000円
定置用リチウムイオン 蓄電システム	1kwあたり10,000円 上限5kw	38件 1,900,000円	71件 3,540,000円	56件 3,819,000円	59件 2,950,000円	59件 4,256,400円
電気自動車等 充電設備 (V2H)	上限50,000円/基	1件 50,000円	0件 0円	2件 100,000円	6件 300,000円	1件 50,000円
家庭用燃料電池 システム (エネファーム)	上限50,000円/基	13件 650,000円	20件 1,000,000円	21件 1,050,000円	29件 870,000円	23件 1,150,000円
一体的導入A (太陽光+HEMS+ 蓄電システム)	上限100,000円	17件 1,659,000円	33件 3,160,000円	18件 2,090,300円	16件 1,581,900円	20件 2,323,900円
一体的導入B (太陽光+HEMS+ V2H)	上限100,000円	1件 100,000円	2件 200,000円	0件 0円	0件 0円	0件 0円
一体的導入C (太陽光+HEMS+ 高性能外皮等)	上限100,000円	21件 2,096,000円	12件 1,200,000円	16件 1,751,200円	4件 520,000円	9件 1,350,000円
エコ窓改修	補助対象経費の1/4 上限30,000円	8件 240,000円	19件 570,000円	19件 950,000円	10件 500,000円	23件 1,079,700円
市予算額	－	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円	10,450,000円	10,450,000円
支出総額	－	110件 6,805,000円	190件 10,000,000円	156件 10,000,000円	162件 7,100,900円	159件 10,450,000円
残額	－	3,195,000円	0円	0円	3,349,100円	0円

次世代自動車購入費等補助事業

	補助内容	R7	R6	R5	R4	R3
		(7月末時点)	実績	実績	実績	実績
電気自動車 (EV)	上限50,000円/台	15件 750,000円	42件 2,100,000円	31件 1,550,000円		
プラグインハイブリッド自動車 (PHV)	上限50,000円/台	14件 700,000円	28件 1,400,000円	25件 1,250,000円		
普通充電設備	10,000円/台	9件 90,000円	25件 250,000円			
燃料電池自動車 (FCV)	上限200,000円/台	0件 0円	1件 200,000円	1件 200,000円		
市予算額	－	3,000,000円	4,000,000円	3,000,000円		
支出総額	－	1540,000円	3,950,000円	3,000,000円		
残額	－	1,460,000円	50,000円	0円		

令和7年度 にっしん省エネ倶楽部事業実施方針

令和7年7月

日進市環境課

【事業の方針】

本市における脱炭素の取組みにおいては、住宅地が多いことから、特にCO₂の排出量が多い家庭部門での取組の推進が重要であるとして、第2次日進市環境基本計画に省エネ化の推進を掲げている。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、さらなる省エネの普及啓発を推進するにあたり、自発的な行動変容やライフスタイルの選択を促す取組の拡大・定着に向けて、事業者、教育機関、愛知県等のさまざまな関係者と協議・協働の上、次の事業に取り組んでいく。

【実施内容】

1. 多世代連携によるエコライフ普及啓発の展開

(1) 高校生ワークショップの開催

ユネスコスクールの認定を受けている中部大学第一高等学校 ESD 部では、これまで日進市と協働して COOL CHOICE を取り入れた活動を長年にわたって実施してきた実績があり、市民向けのワークショップを高校生自身が行うことにより多世代交流の普及啓発を展開する。

- ・講座名：アロマ環境ワークショップ（全2回）
- ・実施日時：8月22日の午前及び午後
- ・内容：自然の香りとライフスタイルの選択(COOL CHOICE)のつながりを考えながら、アロマクラフト(自然の香りを生かしたグッズ作り)を行う。また、精油(エッセンシャルオイル)の抽出実験も行う。

(2) 図書館を利用したイベント等の企画

図書館という一般市民が多数来館する場を利用し、図書館と連携した絵本の読み聞かせを企画する。

- ・実施日時：未定

2. 家庭の省エネの普及啓発

(1) ストップ温暖化教室による家庭へのエコライフ普及啓発の展開

「ストップ温暖化教室」により、クイズや実験などを通して地球温暖化について分かりやすく、楽しく学べる授業を小学校等にて実施する。

- ・実施日及び学校：未定
- ・講師：愛知県地球温暖化防止活動推進員

(2) 地球温暖化を学ぶ科学実験教室による家庭へのエコライフ普及啓発の展開

「地球温暖化を学ぶ科学実験教室」により、実験などを通して地球温暖化について分かりやすく、楽しく学べる講座を実施する。

- ・実施日：7月30日
- ・講師：東邦ガス株式会社

(3) あいち eco ティーチャーによる家庭へのエコライフ普及啓発の展開

「あいち eco ティーチャー（食品ロスについて）」により、カードゲームなどを通して食品ロスについて分かりやすく、楽しく学べる講座を実施する。

- ・実施日：8月6日
- ・講師：あいち eco ティーチャー

(4) 次世代エネルギーフェスタによる水素・アンモニアの普及啓発の展開

「次世代エネルギーフェスタ」により、楽しい実験やワークショップを通して、クリーンなエネルギーとなる水素とアンモニアについて学べる講座を実施する。

- ・実施日：8月18日
- ・講師：中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

(5) 夏休み！おうちでエコアップ大作戦による家庭へのエコライフ普及啓発の展開

夏休み期間中にチェックシートを使って省エネなどのエコアップ行動へ取り組むことにより、愛知県が実施する「あいち COOL CHOICE」運動に取り組みます。

- ・実施日：夏休み期間中

3. エコライフ自己点検の実施と転入者へのエコライフ普及啓発の展開

(1) 「にっしん環境まちづくりサポーターズポイント」抽選会で、参加者に対してエコライフ健診（問診票形式）を実施し、エコライフ定着のための自己点検を行ってもらい、COOL CHOICE 行動の定着を促す。

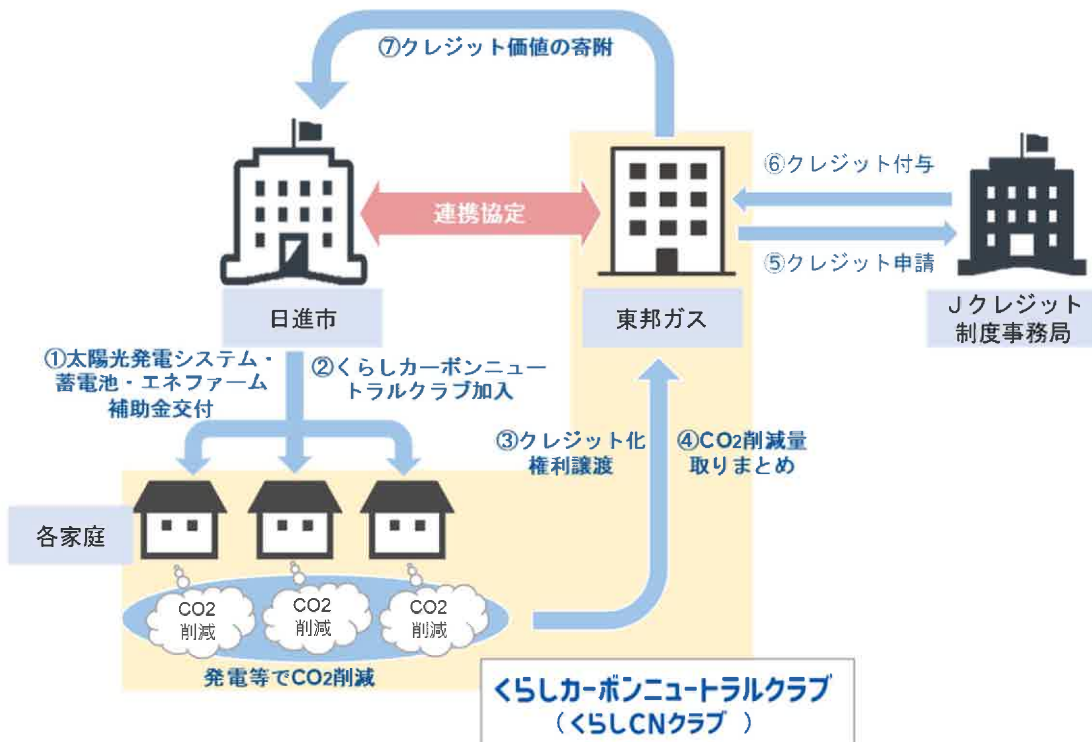
- ・抽選会：12月13日～19日（予定）

(2) 転入者への「にっしんクールライフノート」の配布を行うことでエコライフ普及啓発を図る。

東邦ガスとの連携によるJクレジット創出プロジェクト

1. プロジェクト概要

日進市住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の交付を受け設置される太陽光発電システム、蓄電池、エネファームについて、東邦ガスが発電データの収集や CO₂削減量を算定の上、国へのJクレジット申請を行う。認証されたJクレジットは、日進市に寄付されることにより、市民の脱炭素の取組が新たな環境価値として創出される。創出クレジットは、新たな脱炭素の取組の資金源として活用



2. Jクレジット制度

省エネ・再エネ設備の導入による温室効果ガス排出削減量を国がクレジットとして認証する制度。認証されたクレジットを販売することで資金を得て、新たな資金循環を生み出すことで、経済と環境の好循環を促進する。

